

## 普及活動情勢報告（令和5年11月分）

高吾農業改良普及所

### サンショウとダイダイの剪定講習会を開催



剪定講習の様子

10月17日、越知町片岡地区でサンショウとダイダイの剪定講習会を開催しました。サンショウ・ダイダイ栽培者7名と農事組合法人の職員7名、販売先の製薬会社の職員7名計21名が参加しました。サンショウは落葉樹、ダイダイは常緑樹のため、それぞれの特性を踏まえて剪定方法を説明しました。

主枝と亜主枝の意味について説明すると、参加者から「説明を聞いて目からうろこが落ちる思いがした」「剪定する目的が理解でき大変参考になった」などの声がありました。

普及所は、生産性向上に向け、生産者が適正な草勢管理を実践していけるように今後1~2月頃にも剪定講習会を開催し、剪定技術を指導していきます。

### 秋葉まつりの里未来会議が「えーひだカンパニー株式会社」の取組みを知る



視察先の説明を受けるメンバー

仁淀川町の「秋葉まつりの里未来会議」の組織ビジョン達成を支援するため、普及所が先進事例として島根県安来市比田地区の「えーひだカンパニー株式会社」を紹介し、10月19日に未来会議のメンバー9名が視察研修しました。

同社は、比田地区住民が作成した集落ビジョンを実現するため平成28年に設立した組織で、継続的な取組みのために平成29年には株式会社化し、現在まで多世代がやりがいを持って活動を進めている事例の説明を受けました。

参加者からは、「子供から高齢者まで、事業に参加できるようになっていることがすごい。」「人口等の規模は違いがあるが地域を活性化したい気持ちは同じ。」などの声がありました。

普及所は、引き続き秋葉まつりの里未来会議の組織活動が継続・発展するために助言指導していきます。

### 促成高糖度トマトの出荷始まる



色付く高糖度トマト

JA高知県日高支所ハウス園芸部の促成高糖度トマト(生産者19名, 7.07ha)の出荷が11月3日から始まりました。

普及所は、出荷始めに栽培指針で示している目標糖度を確保するため、葉柄内の硝酸態窒素濃度を測定し、結果をもとにかん水管理や肥培管理を指導しました。生産者からは「かん水量を変えた方が良いか」といった質問があり、着果状況や生育を見ながら今後の管理について生産者と確認していききました。

今年はトマトの平均糖度は7.3度で、玉のサイズもMサイズが中心となっています。

普及所では、今後、すすかび病・葉かび病の発生を考慮した防除の徹底を図るとともに、高糖度トマトの生産の安定に向けて指導していきます。